

製品名: E2F1 (4G8) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03861**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 70 kDa

抗原情報

遺伝子名	E2F1
別名	E2F1; RBBP3; Transcription factor E2F1; E2F-1; PBR3; Retinoblastoma-associated protein 1; RBAP-1; Retinoblastoma-binding protein 3; RBBP-3; pRB-binding protein E2F-1
遺伝子 ID	1869
SwissProt ID	Q01094
免疫原	ヒト E2F1 の合成ペプチド

背景

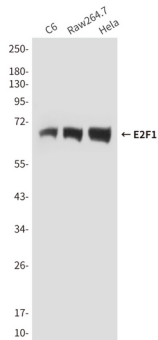
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、転写因子 E2F ファミリーのメンバーです。E2F ファミリーは細胞周期の制御と腫瘍

抑制タンパク質の作用に重要な役割を果たしており、また、小型 DNA 腫瘍ウイルスの形質転換タンパク質の標的でもあります。

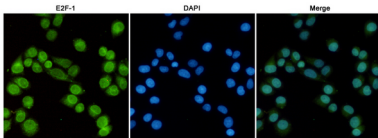
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

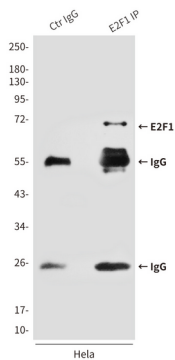
画像データ



E2F1 抗体を使用した C6、Raw264.7、および HeLa 溶解物中の E2F1 のウェスタンブロット分析。



E2F1 抗体および DAPI (青) を使用した HeLa 中の E2F1 (4G8) の免疫蛍光分析。



E2F1 抗体を使用した HeLa 溶解物中の E2F1 (4G8) の免疫沈降分析。